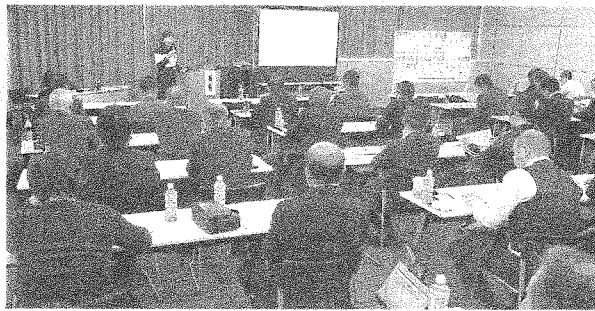


運転者の健康管理徹底

全ト協◆ヘルスナビ

兵庫でセミナー開催



【兵庫】全日本トラック協会は2月22日、兵庫県トラック総合会館(神戸市灘

SAS対策のスタートから運用を聴く

区)で運輸ヘルスケアナビシステム活用及び睡眠時無呼吸症候群(SAS)対策のセミナーを開き、ドライバーの健康管理の徹底を促した。

大西政弘交通・環境部長は「トラックが第1当事者となる死亡事故は、皆さんの取り組みによって減少している。しかし、ドライバーの健康起事故は増加傾向にある。また、脳・心臓疾患での過労死の労働災害認定件数は、業種別でト

トラック運送業界がダントツの1位となっており、健康管理が重要な課題となっている」と述べ、セミナーの意義を強調した。

講演では、NPO法人(非営利組織)ヘルスケアネットワーク(ochis)の武田裕理理事長の作本貞子副理事長が運輸ヘルスケアナビシステムの必要性とSAS対策のスタートから運用を、同保健師の黒田悦子氏は定期健康診断のフォローアップをテーマに、それぞれドライバーの健康管理の手法を説明した。

(渡辺弘雄)